Capital Asset Planning, Inc.

2026 年 10 月 14 日
株式会社キャピタル・アセット・プランニング
（東証スタンダード・コード 3965）

News Release

IFA・金融機関向けアドバイザリープラットフォーム「TrustEngines」の提供開始

～FP・PM・CRM を共通の顧客データでつなぎ、AI がアドバイザリー業務を横断的に支援～

株式会社キャピタル・アセット・プランニング（本社：大阪市北区、代表取締役：北山雅一、以下「当社」）とグループ会社の株式会社 Trust Engine（本社：東京都港区、代表取締役：岩井 淳、以下「Trust Engine」）は、IFA（独立系ファイナンシャルアドバイザー）、金融機関、会計事務所、保険代理店等に向けたアドバイザリープラットフォーム「TrustEngines」を開発しました。第一弾として、ファイナンシャルプランニング（FP）機能（法人オーナー向け機能を含む）、決算書 AI 読取および AI アシスタントの提供を開始します。

「TrustEngines」は、FP（ファイナンシャルプランニング）、PM（ポートフォリオマネジメント）、CRM（顧客管理）を共通 ID・共通顧客データベースの上に統合し、「顧客理解→人生設計→資産運用→継続フォロー→再提案」を一つの流れにして、AI がそのデータを横断的に活用して業務と提案を支えるアドバイザリープラットフォームです。IFA・金融機関等のアドバイザーが、お客様の人生、家族、収支、資産、運用状況、市場環境などの変化を捉え、その時々に適したアドバイスを継続的に行えるよう支援します。法人オーナー向けには、決算書の AI 読取から財務分析、運用余力、経営者に万一のことがあった場合の法人向け必要保障額、自社株評価までを一連の流れで提供します。2026 年 11 月には PM 機能、CRM 機能およびアカウントアグリゲーションを、2026 年内には金融資産を考慮した個人向け必要保障額算出機能を追加する予定です。さらに、当社が開発した富裕層向けコンサルティングプラットフォーム「WMW」との将来的なデータ連携により、相続・財産承継・事業承継へと対応領域を広げ、お客様や市場環境の変化に合わせてアドバイスを継続的に進化させる「Adaptive WealthTech」の実現を目指します。

1.「TrustEngines」の全体像

図 1 「TrustEngines」の全体像

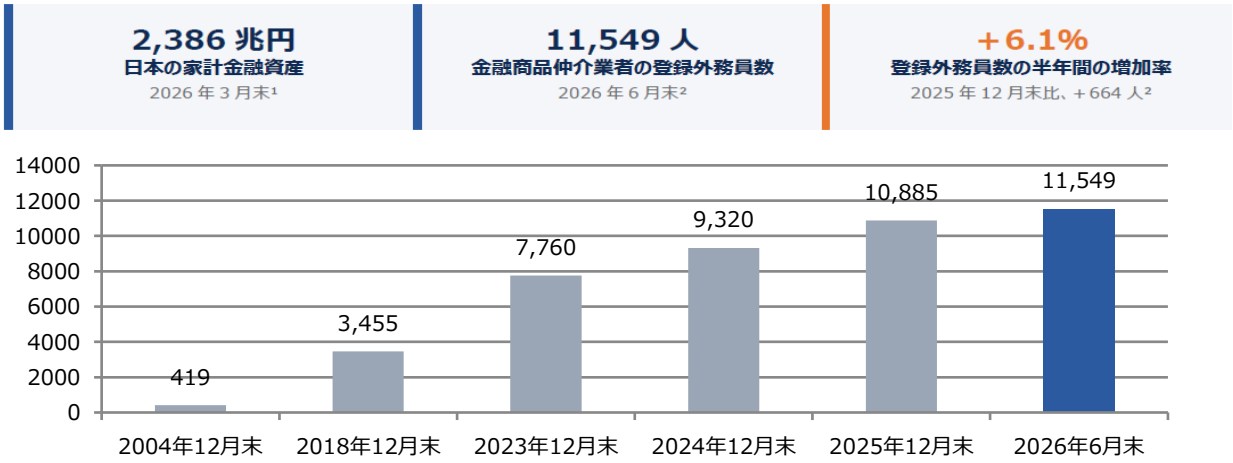


2. 開発の背景

日本の家計金融資産は約 2,386 兆円（2026 年 3 月末）に達しています。NISA の拡充で資産形成・運用への関心が高まる一方、相続税の基礎控除の縮小や団塊世代の相続の本格化を受けて、相続・事業承継を含むご相談も広がっています。このようなアドバイスの担い手である IFA も増え、金融商品仲介業者（法人）の登録外務員数は 2025 年 12 月末の 10,885 人から 2026 年 6 月末には 11,549 人へ、半年間で 664 人（約 6.1%）増加しています。

お客様の相談は資産運用から相続・事業承継まで広がり、IFA 事業者も資本提携や人材採用によって顧客基盤とサービス領域を広げています。取扱領域が増えるほど、顧客情報を組織として管理し、保有資産を一元的に把握し、提案内容を記録・共有する仕組みが欠かせなくなります。「TrustEngines」は、この需要に応える基盤として開発されました。

図 2　家計金融資産と金融商品仲介業者の登録外務員数



出典：¹ 日本銀行「資金循環統計」、² 日本証券業協会「会員から委託を受ける金融商品仲介業者の登録外務員数」（法人、半期末）を基に Trust Engine 作成

3.「TrustEngines」の機能

アドバイスの現場では、顧客情報は表計算ソフトや紙の資料、面談記録は営業管理ツール、ライフプランは個別のシミュレーター、保有資産は証券会社・銀行のシステムと、情報と業務が別々の仕組みに分かれています。二重入力や業務の属人化が生じやすく、ライフプランに基づく提案とその後の資産運用・継続フォローが結びつきにくいという課題がありました。TrustEngines は、FP・PM・CRM を共通 ID・共通顧客データベースの上に統合し、AI が共通データを横断的に活用して各機能を支援。提案時の前提と運用後の状況を確認し、お客様の変化を捉えながら提案することが可能です。

図 3 「TrustEngines」を構成する機能と提供状況



FP・PM・CRM の役割

機能	役割	提供時期
FP	人生設計を起点に、ゴールと必要資金を確認するアドバイスの出発点	提供開始
PM	人生設計を実際の資産運用につなぎ、保有資産やリスク・リターンを継続確認	2026 年 11 月提供予定
CRM	面談履歴やタスクを管理し、提案を一回限りで終わらせず継続フォローを支える	2026 年 11 月提供予定

４．「TrustEngines」の特長

「TrustEngines」は、提供を開始した FP 機能、法人オーナー向け提案、AI アシスタントにおいて、次の 3 点を特長としています。

１）ファイナンシャルプランニング機能 ― ゴールを起点に、達成可能性と将来インカムを示す

将来の目標と必要資金を起点に、収支・保有資産・将来インカムを踏まえてキャッシュフローを推計し、モンテカルロ・シミュレーションでゴール達成可能性を定量化します。ゴールを「必要不可欠（Needs）」「やりたいこと（Wants）」「夢（Wishes）」に分けて確率で示し、提案前後の資産推移と達成可能性の比較、配当・利金・償還金など将来インカムの月次可視化とインカム補完提案、外貨建て資産について円高時の損益への影響の試算までを一貫して行えます。価格変動への耐性の試算は、今後拡充する予定です。2026 年内には、お客様に万一のことがあった場合に遺されたご家族の生活費・教育費などの必要資金と、保有する金融資産を踏まえて生命保険の必要保障額を算出する「金融資産を考慮した個人向け必要保障額算出」を追加する予定です。

２）法人オーナーへの提案 ― 決算書 AI 読み取りから、運用余力・必要保障額・自社株評価まで

個人のお客様に加えて法人オーナーへの提案にも対応します。PDF・画像の決算書を AI が読み取り、BS・PL をデータ化して項目名を標準化します（根拠とあわせて確認・補正が可能）。そのデータをそのまま、財務分析・財務健全性評価、資産運用に回せる運用余力の算出、経営者に万一のことがあった場合に事業継続等に必要となる死亡保障額（法人向け必要保障額）の算出、自社株評価へとつなげます。自社株評価は、現行方式（財産評価基本通達）に加え、現在検討されている見直し案に基づく評価を参考試算として比較できます。事業承継の検討に加え、資産管理会社の設立・活用などを検討する際の判断材料としてもご活用いただけます。

３）AI による業務支援 ― 共通データを活用し、各機能を横断的に支援

AI は、共通の顧客データを活用して FP・PM・CRM の業務を横断的に支援します。提案を高度化する「決算書 AI 読取」と、業務を効率化する「AI アシスタント」は提供を開始しています。AI アシスタントは画面上のチャットで操作ガイドやデータ確認に対応し、指示に応じた修正案を提示して確認のうえ反映します。AI はアドバイザーに代わって判断するためではなく、情報整理・分析・記録・提案準備などの作業時間を減らし、対話や提案により多くの時間を使えるようにするために活用します。投資判断や最終的な提案内容を AI が決めることはなく、判断と説明はアドバイザーが行います。また、面談内容の要約・整理と面談記録の下書き作成を支援する「面談記録 AI」は機能開発を完了しており、2026 年 11 月に CRM に搭載して提供する予定です。アドバイザーが確認・修正した記録を CRM の面談履歴として蓄積し、次回の面談や再提案につなげます。入力支援・入力代行などの AI 機能は、今後対象範囲を順次拡充していく予定です。

５．今後の展開

「TrustEngines」は、FP 機能（法人オーナー向け機能を含む）、決算書 AI 読取、AI アシスタントの提供を開始しました。2026 年 11 月には PM 機能、面談記録 AI を搭載した CRM 機能およびアカウントアグリゲーションを、2026 年内には金融資産を考慮した個人向け必要保障額算出を追加する予定です。その後、証券会社との API 連携先の拡大、当社「WMW」との将来的なデータ連携、AI による入力支援・入力代行の拡充などを進め、相続・財産承継・事業承継へと対応領域を広げていく計画です。また、IFA に加え、金融機関、会計事務所、保険代理店等への展開を進めるとともに、金融機関の個別要件に応じたシステム連携・カスタマイズ・受託開発にも対応してまいります。

図 4　TrustEngines のリリースロードマップ



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社キャピタル・アセット・プランニング　コーポレートアフェアーズ室
TEL：03-6433-9150　 Mail：ir_cap@cap-net.co.jp

以上

株式会社キャピタル・アセット・プランニング

所在地	〒530-0003 大阪市北区堂島 2 丁目 4 番 27 号 JRWD 堂島タワー6F
代表者	代表取締役　北山 雅一
設立	1990 年 4 月
資本金	9 億 5,300 万円（資本剰余金 8 億 3,400 万円）
市場	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3965）
事業内容	システムソリューション開発、AI エージェント・AI 活用プラットフォーム開発、FP・税務計算・ポートフォリオ分析に係る計算ロジックの API 提供等
Web サイト	https://www.cap-net.co.jp/

株式会社 Trust Engine

所在地	〒108-0075 東京都港区港南 1 丁目 2 番 70 号 品川シーズンテラス 27F
代表者	代表取締役　岩井 淳
設立	2025 年 7 月 1 日
資本金	3 億円（資本剰余金 1 億 5,000 万円を含む）
株主	株式会社キャピタル・アセット・プランニング　51％／商智資訊股份有限公司（SoftBI Corp. Ltd.）49%
事業内容	IFA を中心とした国内の金融機関・会計事務所・専門事業者向け資産管理プラットフォームの開発・提供、関連コンサルティング業務
Web サイト	https://www.trustengine.co.jp/

SoftBI Corp.Ltd.

商智資訊股份有限公司（SoftBI Corp. Ltd.）は、台湾・台北市に本社を置く金融 IT 企業です。2002 年の設立以来、CRM、ウェルスマネジメント、資産管理等のシステムを提供しています。